

平成 29 年 3 月 14 日
全国農業共済協会
(NOSA I 全国)

NOSA I 制度 70 周年キャッチフレーズの決定について

公益社団法人全国農業共済協会（高橋博会長）は、NOSA I（農業共済）制度が平成 29 年 12 月に施行 70 周年を迎えるにあたり、農業経営のセーフティーネットとして一層の機能発揮を目指すNOSA Iを、広くアピールするキャッチフレーズを募集しました。厳正な審査の結果、次のとおり決定いたしましたので御報告します。

1. 募集期間

平成 28 年 11 月 10 日（木）～29 年 1 月 31 日（火）

2. 応募総数

3,200 点

3. 選考結果

〈最優秀賞〉 1 点

◇「備えの種をまこう。」

きど あやか
城戸 彩香さん（東京都豊島区）

〈優秀賞〉 2 点

◇「育ち、育て、育つ。」

たかせ りょう
高瀬 遼さん（北海道旭川市）

◇「農業に 助け愛+支え愛」

ひらまつ たいすけ
平松 泰輔さん（北海道札幌市）

4. 選考委員会講評

選定に当たっての基準は、応募要領に示した「農業災害対策の基幹的制度としての役割に加え、新たな時代に適切に対応して役割を果たす姿勢をイメージできる」ことを基本としました。NOSA I 団体は、政府が導入を予定する収入保険制度の事業主体に位置付けられており、従来以上に農業経営を支える機能の発揮が求められています。

最優秀賞の「備えの種をまこう。」は、リスクに対する備えの大切さを「種をまこう。」との呼びかけで訴えるとともに、NOSA I 制度と収入保険制度の両輪で、「備えあれば憂いなし」の生産体制構築を目指すNOSA I の姿勢とも一致しています。

優秀賞の「育ち、育て、育つ。」は、短い言葉の繰り返しで、力強い印象を与えます。農業者とNOSA I が力を合わせ農業・農村を発展させていく姿勢をイメージできます。

同じく優秀賞の「農業に 助け愛+支え愛」は、NOSA I 制度の基本である相互扶助について、「+」の使用と「あい」を「愛」の文字で読ませる工夫とし、助け支えあうことを印象づけています。

5. キャッチフレーズの活用

全国のNOSA I では、最優秀作品をもとにデザイン化したロゴを制作し、平成 29 年 4 月から広報資材等に掲載して、組合員である農家をはじめ、広く国民にNOSA I 制度をPRする取り組みを実施します。

〈広報資材等〉

- ①農業共済新聞
- ②月刊NOSA I、家畜診療
- ③NOSA I 組合等・連合会の広報紙、ホームページ等
- ④その他印刷物等